

東だより


半世紀そして未来へ
 2014年11月11日
 武蔵野東学園 創立50周年
特別号

武蔵野東学園 広報 第44号
 2014年(平成26年) 11月8日発行

〒180-0012 東京都武蔵野市緑町2-1-10
 TEL 0422-52-2211 (代) FAX 0422-53-1090
<http://www.musashino-higashi.org>

学園創立50周年に寄せて(記念祝賀会挨拶より)

理事長 寺田 欣司

学園理事長の寺田でございます。皆様ご多忙の中、当学園創立50周年記念祝賀会にご出席くださりまして、誠にありがとうございます。これまで賜りました学園への多大なご支援にあらためて感謝申し上げます。

一昨年、私は「武蔵野東学園物語」と題した本を上梓いたしました。3年ほど前から、学園のこれまでの歴史をもう一度振り返ってみようと、北原キヨの著書を始めとする学園の記録に目を通してきたのですが、そこから見えてきたものは、学園50年の歴史がいかに波乱万丈であったか、当学園がいかに多くの皆様方のご支援をいただいていたか、そして教師たちがいかに奮闘してきたかでございます。

改めてこれらを確認したとき、当学園の50周年記念誌は、一般的な周年記念誌ではなく、汗と涙そして笑顔と希望、その悲喜こもごもの様相を一つの物語として残したい、そんな思いに駆られてつい筆が進み、50周年の今年を待たずに一昨年に「武蔵野東学園物語」を書きあげた次第でございます。

当学園50年を振り返って感じましたことは、学園の歴史50年は25年、25年この二つの歴史が合わさったものということでございます。前半25年は、初代学園長の北原キヨの創意工夫と、強力なリーダーシップによって学園は発展しました。そしてその後の25年、つまり平成元年にキヨが急逝した後は、北原キヨの薫陶を受けた、当時まだ若かった教師たちの手で、学園が発展を遂げたということでございます。私も生前の北原キヨの教育方針に共鳴して、娘二人をこの学園に預けた一人の保護者でありまして、北原キヨの考えをよく理解しているつもりでございます。つまり今日においても武蔵野東学園は、北原キヨイズムと申しましうか、北原キヨの教えを守り、またキヨの遺志、キヨが生前やり残したことの実現を目指して日々頑張っているのでございます。

武蔵野東学園は世界で唯一健常児と自閉症児の混合教育を行う学園であることはご承知の通りと存じますが、本日現在、学園には、幼小中高合わせて在籍児童生徒数1670人、附属教育センター所属の児童生徒540人、姉妹校ボストン東スクールに140名、合計2350人の児童生徒の教育に当たっており、そのうち1140人が自閉症児を中心とした発達障害児でございます。

昨今の教育界ではインクルーシブ教育の推進が声高に叫ばれています。障害ある子どもたちを健常児で包み込み、子供同士の交流を進めて両者に教育効果を上げるという考え方でございますが、当学園の歩みからすれば実に隔世の感を感じざるを得ません。と申しますのもこのインクルーシブ教育は、当学園では混合教育として50年前から実践してまいりました。しかしこれまで、両者を同じ環境の中で教育することは健常児、障害児双方に悪影響を及ぼしかねないとして、教育研究者から批判的な目で見られることが多かったからでございます。

その批判の中で学園の教師たちは、両者の交流が生み出す教育効果を目の当たりにして参りましたから、それらの批判に耐え、混合教育を貫いて参ったわけでございます。そして学園はこれまで社会的弱者に対してやさしく接する健常児と、治療教育の効果が顕著な自閉症児を育てることができました。北原キヨの教育哲学を忠実に踏襲してきた教師たち、この50年を振り返って決して間違っていないと断言できると思います。

今から十年前のことでございます。記念すべき創立50周年に向けて、「より快適な教育環境を子供たちに与えたい」と目標を定め、以後北原記念館、体育館をはじめとして各園校の抜本的施設整備を図って参りました。自閉症児向けの教育プログラム「生活療法」の恩恵を、学園外の自閉症児にも与えたいとして教育センターを開設しました。自閉症児の社会自立に向けて職業開発、施設整備取り組んでまいりました。幸い皆様の温かいご支援を受けて今日の50周年記念日まで、それをほぼ実現させることができました。

しかし私たちはまだ北原キヨの遺言のすべてを、実現したとは言えません。残る課題は自閉症児教育のプロ養成機関の設置です。今日教育界の重要課題としてインクルーシブ教育の推進が進められていますが、そのためには指導者、とりわけ教育が難しい自閉症児教育のプロが多数必要になってまいります。

北原キヨは今日を予見していたのか、東学園を将来自閉症児教育者養成機関にしたいとの願いを抱いておりました。学園はその実現のステップとして、教育センターにおいて現役の教師たちを対象にした指導者養成講座を開き、北原キヨの願いの実現を目指しておりますが、この取り組みはまだ不十分と言わざるを得ません。

しかし、長い助走期間は必要だろうが、必ず北原キヨの願いを実現しよう。私たちはこう心に誓っております。本日ご列席の皆様には、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。



小学校サンライズホール完成

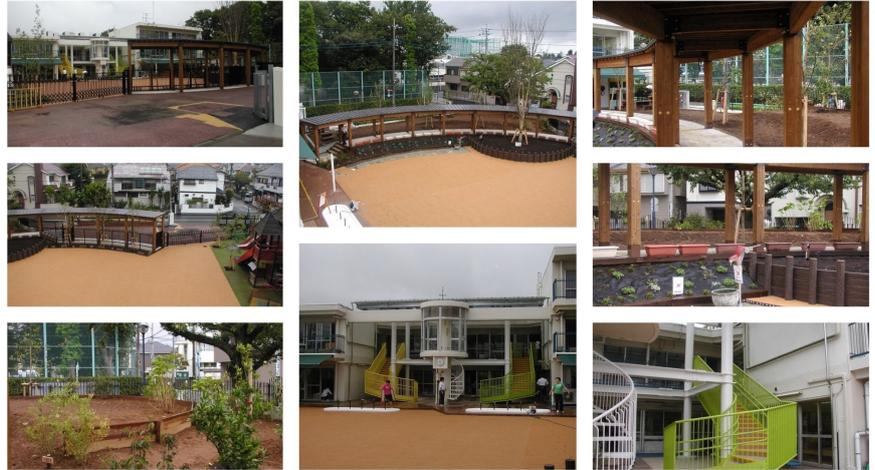
武蔵野東第一・第二幼稚園 園庭改修工事



半世紀 そして未来へ
2014年11月11日
武蔵野東学園 創立50周年



2024年の同窓会であけるの！



武蔵野東小学校改修工事



半世紀 そして未来へ
2014年11月11日
武蔵野東学園 創立50周年



武蔵野東中学校改修工事



半世紀 そして未来へ
2014年11月11日
武蔵野東学園 創立50周年



南アルプスチロル学園・山梨友愛寮

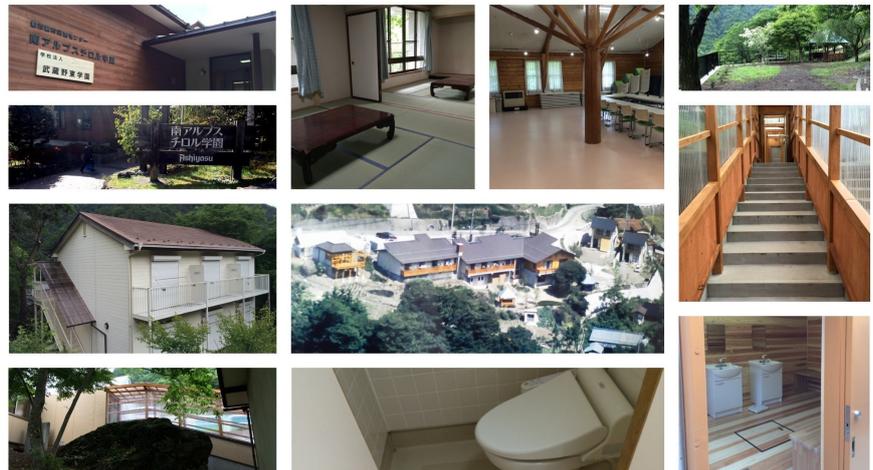


半世紀 そして未来へ
2014年11月11日
武蔵野東学園 創立50周年



素敵な調理室ができました！

武蔵野東高等専修学校



武蔵野東教育センター



新しいシンボルツリー シマトネリコ

50TH ANNIVERSARY ART EXHIBITION
 武蔵野東第一幼稚園 武蔵野東第二幼稚園
 武蔵野東小学校 武蔵野東中学校 武蔵野東高等専修学校
 BOSTON HIGASHI SCHOOL 武蔵野東教育センター

学校法人 武蔵野東学園
<http://www.musashino-higashi.org>

Anniversary

武蔵野東学園創立50周年記念
美術展

共催：武蔵野市 会場：武蔵野市立吉祥寺美術館
 会期：平成26年
11月21日(金)～25日(火)
 (最終日は17時に終了いたします。)

JR,京王井之頭線吉祥寺駅中央口(北口)から
 ○徒歩約3分、コピス吉祥寺A館7階
 ◎Parking
 ◎吉祥寺美術館専用駐車場はございません。
 開館時間 10:00～19:30
 休館日 毎月最終金曜日、展示期間、年末年始

武蔵野東学園 創立50周年記念 美術展

武蔵野市との共催により吉祥寺美術館にて武蔵野東学園創立50周年記念美術展が開催されます。

幼稚園から高等専修学校までの全校生徒による共同作品、また教育センター・ボストン東スクールからの作品も展示いたします。ぜひお越し下さい。

(日時) 2014年11月21日(金)～11月25日(火)
10:00～19:30 (最終日は17:00終了)

(会場) 武蔵野市立吉祥寺美術館
武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 FFビル
(コピス吉祥寺A館) 7階
(入場料) 無料

吉祥寺美術館へのアクセス等
ご案内は下のアドレスからご覧ください

http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/index.html

学園では創立50周年記念事業を推進していくため、「創立50周年記念事業募金」を2015年3月末日まで引き続きご協力をお願いしております。

http://www.musashino-higashi.org/50th_fundraising_top.htm

詳細については学園Webページをご覧ください。
(申込用紙のダウンロードも可能です。)

ご不明の点などあればお気軽にお問い合わせください。

武蔵野東学園 創立50周年記念事業募金委員会
180-0012 東京都武蔵野市緑町 2-1-10
Tel. 0422-52-2211 Fax. 0422-53-1090